

外観 (西改札口)



武庫川駅は、本線と武庫川線の連絡駅であり、本線のプラットホームがすべて武庫川の橋梁上にある珍しい駅で、2002年「近畿の駅百選」に選ばれている。写真は武庫川線のプラットホームがある西改札口。

トイレ入口



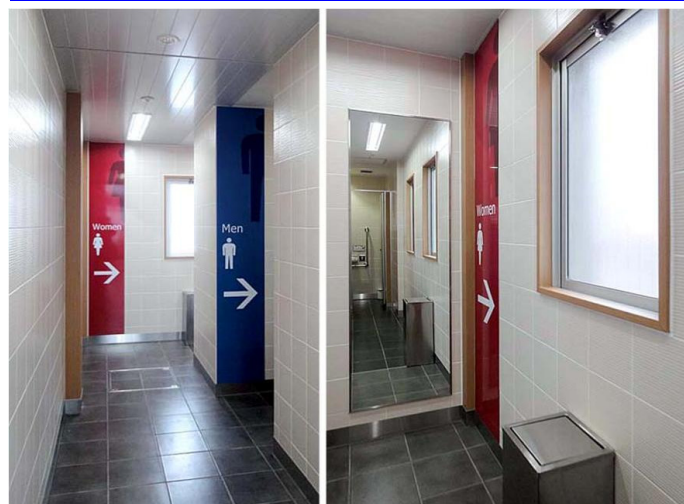
改修前は通路の一番奥にあった多機能トイレをアプローチしやすいよう入口近くに配置し、多機能トイレを利用される方の利便性向上を図っている。

多機能トイレ



多機能トイレの大便器は、床を清掃しやすいロータンク式壁掛式大便器を採用(電鉄様専用用品)。小さなお子様連れに配慮して、ベビーチェアとベビーシートを設置している。

トイレ入口



大きなイラストと色分けにより、男女トイレがひと目でわかるようにしている。女性トイレ入口の大きな窓は、順番を待つ人にも好評とのこと。

男性トイレ 洗面コーナー



限られたスペースの中で開放性を高めるために、洗面コーナー横の側板は腰高に抑えて設置。また、洗面コーナーや小便器の上部は折り上げ天井にして間接照明を設置し、明るいトイレ空間を実現している。

男性トイレ 小便器コーナー



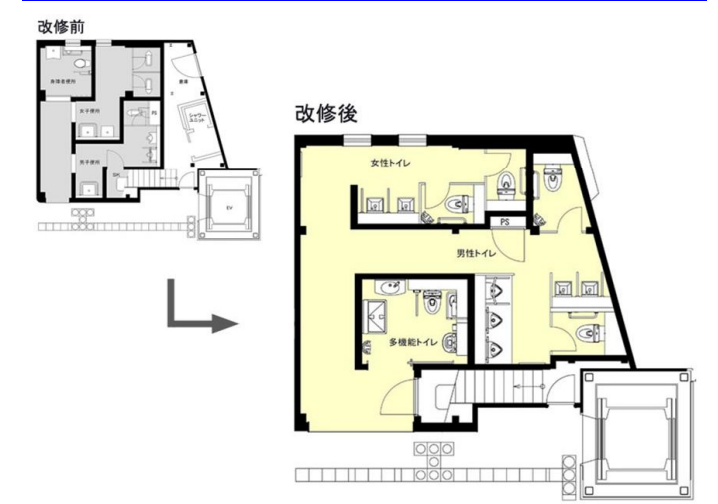
小便器は、床の清掃性や節水性に優れた、壁掛式の低リップタイプ自動洗浄小便器を採用。すべての小便器に手すりを設置している。

改修前トイレ



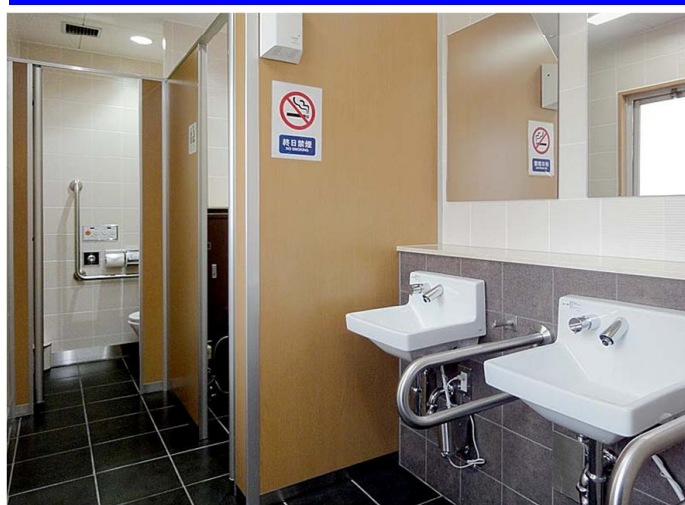
改修前は、内装に昔ながらの目地の多い小割のタイルを使用していたため、清掃しても臭気が残っていたほか、内装器具共に老朽化が進み、寒々とした印象のトイレ空間だった。

トイレ図面



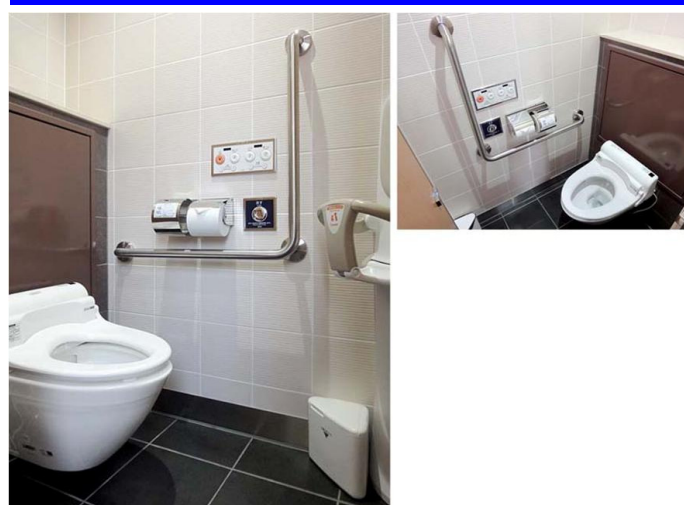
隣接する倉庫スペースを移設し、トイレスペースとして拡張。トイレがエレベーター通路に面していることもあり、朝のラッシュ時の混雑を回避するため、多機能トイレ前に人が滞留できるスペースを確保している。

女性トイレ 全体



洗面器の水栓金具は、ノンタッチで水の出し止めができ、衛生的で止め忘れもない自動水栓を採用。棚やフックなど荷物配慮も充実している。

女性トイレ



大便器は、床の清掃性に優れた壁掛式を採用し、すべてのブースに手すりとうォンシュレットを設置している。また、小さなお子様連れに配慮して、ベビーチェアを備えた大便器ブースを1ヶ所設けている。

建築概要

名称	阪神電車 武庫川駅
所在地	兵庫県西宮市武庫川町2番15号
施主	阪神電気鉄道株式会社
設計	阪神電気鉄道株式会社
施工	(株)ハンシン建設リニューアル事業本部
竣工年月	(改修) 2014年10月

水まわりの特長

<改修の経緯>
阪神電気鉄道では、更にお客様のサービス向上を図るため、老朽化した各駅の旅客トイレ改修を進めている。築30年が経過した同駅のトイレは、「トイレが臭い、暗い。」という意見が多く寄せられていた。同駅は、阪神本線と武庫川線の2路線が利用可能な駅であるが、この度、武庫川線連絡改札の改修にあわせて旅客トイレの全面的な改修工事を行った。

<トイレの特長>
今回の改修では、隣接する倉庫をトイレスペースに取り込み、男性トイレの衛生器具を増設し混雑緩和を図ったほか、通路の奥にあった多機能トイレを手前にするなど、レイアウトを大きく変更している。また、和式であった男女トイレの大便器は全て洋式大便器に更新。床の清掃性や給水負荷を考慮し、ロータンク式壁掛大便器(電鉄様専用用品)を採用している。その他、高齢者や小さなお子様連れの方に配慮して、各衛生器具に手すりを設置し、男女トイレにベビーチェアを備えた大便器ブースを1ヶ所ずつ設けている。内装材は清掃性に配慮して床は300角、壁は200角のタイルを採用。壁タイルの色は暖色系、ブースは木目調としたことで、明るく落ち着きある空間となっている。